



のりお通信

ヘリポート計画 白紙に！

－ 利府町への移転を断念 －

私の市政活動報告をお読みいただきありがとうございます。今年も残すところあと数日となりました。皆様お元気でお過ごしのことと思います。

さて、宮城県主導で進められてきたヘリポート計画は、県が利府町の県有地への整備を断念したことで、白紙になってしまいました。



被災前のヘリポート（若林区荒浜）

造成工事の事業費が当初の約27億円から約70億円に増加し、事業期間が大幅に延び、国の補助金も受けられなくなることを理由に挙げています。

県の計画がずさんであったと言わざるを得ず、これまでに費やした時間とお金（仙台市の負担は約6,700万円）が無駄になってしまいました。

若林区荒浜にあった仙台市消防ヘリポートが東日本大震災で被災したため、現在、県と市の航空隊は仙台空港に仮事務所を置き、震災前と同様に24時間体制で県と市の共同運航体制を実施しています。

しかし、共同運航といっても、仙台市のヘリコプターは2機で、県のヘリコプターが1機であることを考えるならば、ヘリポートの整備についても仙台市主導で進めるべきです。市民の安全・安心の確保に向け早急に適地を選定することを求めます。

最後になりましたが、来る平成27年が皆様にとりまして輝かしい年になりますことをお祈り申し上げます。

災害情報メールで、市HPにアクセス殺到！

－ 避難準備情報を発令するも対象地区が不明 －

10月14日早朝、携帯電話の大きな音で飛び起きた方も多かったのではないのでしょうか。仙台市から緊急速報メール（エリアメール）が届いたのです。

仙台市は台風19号の大雨を踏まえ、避難準備情報を発令し、午前4時53分に緊急速報メールを配信しました。

このメールを見た方が避難対象地区等の情報を確認するため、仙台市のホームページにアクセスが集中することとなり、繋がらない状態や、繋がっても

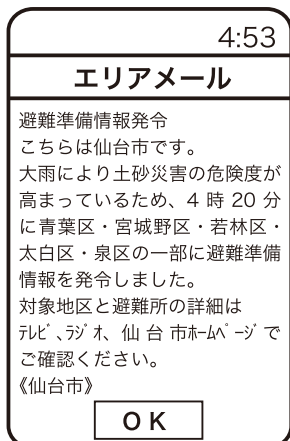
ファイルを閲覧できない状態が1時間ほど続きました。

大雨による被害も小さく、大事に至らず安心しましたが、避難勧告や避難指示の場合に同じ事態が生じたら、大変なことになると思います。

今回の問題をしっかりと検証し、万全の対策を行うよう求めてまいります。

改善策

- ①テレビ、ラジオ、市ホームページの他に、杜の都web、危機管理室ツイッター(1月中旬運用予定)等へ誘導を行う。
- ②避難対象地区や避難所について、添付ファイルではなく、テキストデータとして掲載する。
- ③データを軽量化した簡易なトップページへ切り替える対応を行う。
- ④インターネット接続回線の容量を増やす。
- ⑤PC、スマートフォンを所持しない方向けに、仙台市携帯サイトへの避難対象地区や避難所の詳細情報を掲載する。



早朝の緊急メールにびっくり！

◇ 斎藤のりお プロフィール ◇

昭和29年8月生まれ
 古川高校・北海道大学経済学部卒業
 その後宮城県職員となる
 平成15年 仙台市議会議員初当選（現在3期目）
 仙台市議会において
 ○東西線・まちづくり促進調査特別委員会委員長
 ○会派「自由民主党・仙台」会長
 自由民主党泉区支部長